

SAT大藏経DB 2018に登録されている漢文の書き下し

文です。漢文はDBにおける該当する番号のテキストデータから引用です。

漢字表現と句点を、できる限りそのままにしています。書き下し文は独自に作成しています。咒文の画像は独自に描き起こしています。

SAT250 .. 鳩摩羅什さま .. 摩訶般若波羅蜜大明呪經

SAT251 .. 玄奘さま .. 般若波羅蜜多心經

SAT252 .. 法月さま .. 普遍智藏般若波羅蜜多心經

SAT253 .. 般若さま利言さま .. 般若波羅蜜多心經

SAT254 .. 智慧輪さま .. 般若波羅蜜多心經

SAT255 .. 法成さま .. 般若波羅蜜多心經燉煌石室本

SAT257 .. 施護さま .. 佛説聖佛母般若波羅蜜多經

語彙

SAT250::鳩摩羅什さま..摩訶般若波羅蜜大明呪  
經

漢文

摩訶般若波羅蜜大明呪經

姚秦天竺三藏鳩摩羅什譯

觀世音菩薩。行深般若波羅蜜時。照見五陰空。度一切苦厄。

舍利弗色空故無惱壞相。

受空故無受相。想空故無知相。行空故無作相。

識空故無覺相。何以故。

舍利弗非色異空。非空異色。色即是空。空即是色。

受想行識亦如是。

舍利弗是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。是空法。

非過去非未來非現在。

是故空中。無色無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色聲香味觸法。

無眼界乃至無意識界。

無無明亦無無明盡。乃至無老死無老死盡。

無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。

菩薩依般若波羅蜜故。心無罣礙。無罣礙故無有恐怖。

離一切顛倒夢想苦惱。究竟涅槃。三世諸佛依般若波羅蜜故。

得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜是大明呪。無上明呪。

無等等明呪。能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜呪即說呪曰

竭帝竭帝 波羅竭帝 波羅僧竭帝 菩提

僧莎呵

摩訶般若波羅蜜大明呪經

## 漢文と書き下し文

摩訶般若波羅蜜大明呪經

摩訶般若波羅蜜大明呪經。

姚秦天竺三藏鳩摩羅什譯

姚秦の天竺三藏、鳩摩羅什が譯。

觀世音菩薩。行深般若波羅蜜時。

觀世音菩薩。深く行じて、般若波羅蜜の時。

照見五陰空。度一切苦厄。

五陰は空と照らし見る。一切の苦厄を度る。

舍利弗色空故無惱壞相。

舍利弗、色は空、故に惱壞の相は無し。

受空故無受相。

受は空、故に受の相は無し。

想空故無知相。

想は空、故に知の相は無し。

行空故無作相。

行は空、故に作の相は無し。

識空故無覺相。何以故。

識は空、故に覺の相は無し。何を以て故に。

舍利弗非色異空。非空異色。

舍利弗、色に非ず、空に異ならず。空に非ず、色に異ならず。

色即是空。空即是色。

色は即ち是れ空。空は即ち是れ色。

受想行識亦如是。

受、想、行、識も亦、是れの如し。

舍利弗是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。

舍利弗、是の諸法は空の相。

不増不減。是空法。

生じず、滅せず。垢れず、淨めず。増えず、減らず。

非過去非未來非現在。

過去に非ず、未來に非ず、現在に非ず。

是故空中。無色無受想行識。

是れ故に、空の中。色は無し、受、想、行、識も無し。

無眼耳鼻舌身意。

眼、耳、鼻、舌、身、意は無し。

無色聲香味觸法。

色、聲、香、味、觸、法は無し。

無眼界乃至無意識界。

眼界は無く、乃ち意識界に至り無し。

無無明亦無無明盡。

無明は無く、亦、無明が盡きるは無し。

乃至無老死無老死盡。

乃ち老死に至り無く、亦、老死が盡きるも無し。

無苦集滅道。

苦、集、滅、道は無し。

無智亦無得。以無所得故。

智は無く、亦、得るも無し。得る無し以て故に。

菩薩依般若波羅蜜故。

菩提薩垂は般若波羅蜜に依るが故に。

心無罣礙。無罣礙故無有恐怖。

心に罣礙無し。罣礙無し故に恐怖の有る無し。

離一切顛倒夢想苦惱。究竟涅槃。

一切の顛倒夢想と苦惱を離す。涅槃を究竟する。

三世諸佛依般若波羅蜜故。得阿耨多羅三藐三菩提。

三世諸佛。般若波羅蜜に依るが故に。阿耨多羅三藐三菩提を

得る。

故知般若波羅蜜是大明呪。

故に知る般若波羅蜜は是れ大明の呪。

無上明呪。無等等明呪。

是れ無上の呪、是れ無等等の呪。

能除一切苦眞實不虛故說般若波羅蜜呪即說呪曰

一切の苦を能く除く、眞の實にして虚ならず、故に

般はん若んに波羅蜜やはらみつの呪しゆを説とく、即すなわち呪しゆに説といて曰いわく、

竭帝竭帝 波羅竭帝 波羅僧竭帝 菩提僧莎呵

ギヤテイギヤテイ ハ ラ ギヤテイ ハ ラ ソウギヤテイ

竭帝竭帝 波羅竭帝 波羅僧竭帝 菩提僧莎呵

ボ ジ ソウワカ

摩訶般若波羅蜜大明呪經

ま か はん に や は ら み つ だ い め い し ゆ き よ う

摩訶般若波羅蜜大明呪經。

SAT251..玄奘さま..般若波羅蜜多心經

漢文

般若波羅蜜多心經

唐三藏法師玄奘譯

觀自在菩薩。行深般若波羅蜜多時。照見五蘊皆空。度一切苦厄。  
舍利子。色不異空。空不異色。色即是空。空即是色。  
受想行識亦復如是。

舍利子。是諸法空相。不生不滅。不垢不淨。不增不減。  
是故空中。無色。無受想行識。

無眼耳鼻舌身意。無色聲香味觸法。無眼界。乃至無意識界。

無無明。亦無無明盡。乃至無老死。亦無老死盡。

無苦集滅道。

無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。

依般若波羅蜜多故。心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。

遠離顛倒夢想。究竟涅槃。

三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。

故知般若波羅蜜多。是大神咒。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。  
能除一切苦。真實不虛。

故說般若波羅蜜多咒

即說咒曰

揭帝揭帝 般羅揭帝 般羅僧揭帝 菩提僧莎訶

般若波羅蜜多心經

漢文と書き下し文

般若波羅蜜多心經

はんにやほらみつたしんぎよう

般若波羅蜜多心經。

唐三藏法師玄奘譯

とう さんぞうほうし げんじよう やく

唐の三藏法師、玄奘が譯。

觀自在菩薩。行深般若波羅蜜多時。

かんじざいぼさつ ふか ぎよう はんにやほらみつた

觀自在菩薩。深く行じて、般若波羅蜜多の時。

照見五蘊皆空。度一切苦厄。

ごうん みなくう て み いつさい くやく わた

五蘊は皆空と照らし見る。一切の苦厄を度る。

舍利子。色不異空。空不異色。

しやりし しき くう こと くらう しき こと

舍利子。色は空に異ならず。空は色に異ならず。

色即是空。空即是色。

しき すなわ こ くらう すなわ こ しき

色は即ち是れ空。空は即ち是れ色。

受想行識亦復如是。

じゆ そう ぎやうし しみ また こ ごと ふく

受、想、行、識も亦、是れの如く復す。

舍利子。是諸法空相。

舍利子。是の諸法は空の相。

不生不滅。不垢不淨不增不減。

生じず、滅せず。垢れず、淨めず。増えず、減らず。

是故空中。無色。無受想行識。

是れ故に、空の中。色は無し。受、想、行、識も無し。

無眼耳鼻舌身意。

眼、耳、鼻、舌、身、意は無し。

無色聲香味觸法。

色、聲、香、味、觸、法は無し。

無眼界。乃至無意識界。

眼界は無し。乃ち意識界に至り無し。

無無明。亦無無明盡。乃至無老死。

無明は無し。亦、無明が盡きるは無し。

亦無老死盡。

乃ち老死に至り無し。亦、老死が盡きるも無し。

無苦集滅道。

苦く、集しゅう、滅めつ、道どうは無なし。

無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵。

智ちは無なく、亦また、得えるも無なし。得える無なし以もつて故ゆえに。菩提薩埵垂ぼだいざつた

。

依般若波羅蜜多故。

般若波羅蜜多はんにやほらみつたに依よるが故ゆえに。

心無罣礙。無罣礙故。無有恐怖。

心こころに罣けいげ礙な無し。罣けいげ礙なし故ゆえに。恐きょうふ怖あの有なる無なし。

遠離顛倒夢想。究竟涅槃。

顛倒夢想てんどうむそうを遠とおく離はなす。涅ねはん槃くきょうを究く竟きやうする。

三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。

三世諸佛さんぜしよふつ。般若波羅蜜多はんにやほらみつたに依よるが故ゆえに。阿耨多羅三藐三菩提あのかたらさんみやくさんぼうだい

を得える。

故知般若波羅蜜多。

故ゆえに般若波羅蜜多はんにやほらみつたを知しる。

是大神咒。是大明咒。是无上咒。是无等等咒。

是れ大神の咒。是れ大明の咒、是れ無上の咒。是れ無  
等々の咒。

能除一切苦。眞實不虛。

一切の苦を能く除く。眞の實にして虚ならず。

故説般若波羅蜜多咒

故に般若波羅蜜多の咒を説く。

即説咒曰

即ち咒に説いて曰く、

揭帝揭帝 般羅揭帝 般羅僧揭帝 菩提僧莎訶

揭帝揭帝 般羅揭帝 般羅僧揭帝 菩提僧莎訶

般若波羅蜜多心經

般若波羅蜜多心經。

# SAT252::法月さま::普遍智藏般若波羅蜜多心經

漢文

普遍智藏般若波羅蜜多心經

摩竭提國三藏沙門法月重譯

如是我聞。一時佛在王舍大城靈鷲山中。與大比丘衆滿百千人。菩薩摩訶薩七萬七千人俱。其名曰觀世音菩薩。文殊師利菩薩。彌勒菩薩等。以爲上首。皆得三昧總持。住不思議解脫爾時觀自在菩薩摩訶薩在彼敷坐。於其衆中即從座起。詣世尊所。面向合掌曲躬恭敬。瞻仰尊顏而白佛言。世尊。我欲於此會中。說諸菩薩普遍智藏般若波羅蜜多心。唯願世尊聽我所說。爲諸菩薩宣祕法要。爾時世尊以妙梵音。告觀自在菩薩摩訶薩言。善哉善哉具大悲者。聽汝所說。與諸衆生作大光明。於是觀自在菩薩摩訶薩蒙佛聽許。佛所護念。入於慧光三昧正受。入此定已。以三昧力行深般若波羅蜜多時。照見五蘊自性皆空。彼了知五蘊自性皆空。從彼三昧安詳而起。即告慧命舍利弗言。善男子。菩薩有般若波羅蜜多心。名普遍智藏。汝今諦聽善思念之。吾當爲汝分別解說。作是語已。慧命舍利弗白觀自在菩薩摩訶薩言。唯大淨者。願爲說之。今正是時。於斯告舍利弗。諸菩薩摩訶薩應如是學。色性是空空性是色。色不異空空不異色。色即是空空即是色。受想行識亦復如是。識性是空空性是識。識不異空空不異識。識即是空空即是識。舍利子。是諸法空相。不生不滅不垢不淨不增不減。是故空中無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色聲香味觸法。無眼界乃至無意識界。無無明亦無無明盡。乃至無老死亦無老死盡。無苦集滅道。

無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無罣礙。無罣礙故無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜多是大神呪。是大明呪。是無上呪。是無等等呪。

能除一切苦真實不虛。故說般若波羅蜜多呪。

即說呪曰

揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提莎婆訶

佛說是經已。諸比丘及菩薩衆。一切世間天人阿脩羅乾闥婆等。

聞佛所說皆大歡喜。信受奉行

普遍智藏般若波羅蜜多心經

## 漢文と書き下し文

普遍智藏般若波羅蜜多心經

ふへんちぞうほんにやはらみつたしんぎよう

普遍智藏般若波羅蜜多心經。

摩竭提國三藏沙門法月重譯

まがだこくさんぞうしゃもんぼうがつじゆうやく  
摩竭提國の三藏、沙門の法月が重譯。

如是我聞。

これのごとわれき  
是れの如く我は聞く。

一時佛在王舎大城靈鷲山中。

いつときほとけおうしやだいじよう

りようじゆせんちゆうあ  
一時に佛は王舎大城の靈鷲山中に在り。

與大比丘衆滿百千人。菩薩摩訶薩七萬七千人俱。

大比丘の衆は百千人に満ち與する。菩薩摩訶薩は七萬七千人と俱す。

其名曰觀世音菩薩。文殊師利菩薩。彌勒菩薩等。以爲上首。

其の名を曰く、觀世音菩薩。文殊師利菩薩。彌勒菩薩など。以て上首と爲す。

皆得三昧總持。

皆は三昧の總持を得る。

住不思議解脫爾時觀自在菩薩摩訶薩在彼敷坐。

不思議な解脫に住まる爾の時、觀自在菩薩摩訶薩、彼の坐を敷いて在り。

於其衆中即從座起。詣世尊所。

其の衆の中に於いて即ち座に従い起つ。世尊に詣る。

面向合掌曲躬恭敬。瞻仰尊顏而白佛言。

面に向い合掌し曲躬し恭敬する。尊顏を瞻仰し、佛に白して言う。

世尊。我欲於此會中。

世尊。我於此會中に於いて欲する。

說諸菩薩普遍智藏般若波羅蜜多心。

諸の菩薩に普遍智藏般若波羅蜜多心を説く。

唯願世尊聽我所說。爲諸菩薩宣祕法要。

唯、世尊に我の說を聽くを願う。諸の菩薩の爲に祕  
の法要を宣う。

爾時世尊以妙梵音。告觀自在菩薩摩訶薩言。

爾の時に世尊は妙な梵音を以て、觀自在菩薩摩訶薩に  
告げて言う。

善哉善哉具大悲者。聽汝所說。

善哉、善哉、大悲を具える者。汝の說を聽く。

與諸衆生作大光明。

諸の衆生に與し、大光明を作る。

於是觀自在菩薩摩訶薩蒙佛聽許。佛所護念。

是れに於いて觀自在菩薩摩訶薩は、佛の聽く許しを蒙

る。佛の念を護る。

入於慧光三昧正受。入此定已。  
慧光に於いて三昧に入り、正受する。此の定に已に入  
る。

以三昧力行深般若波羅蜜多時。

三昧力を以て深く行じて般若波羅蜜多の時。

照見五蘊自性皆空。

五蘊自らの性を皆空と照らし見る。

彼了知五蘊自性皆空。

彼は五蘊自らの性を皆空と了知する。

從彼三昧安詳而起。

彼の三昧は安詳に従い起つ。

即告慧命舍利弗言。

即ち慧命な舍利弗に告げて言う。

善男子。菩薩有般若波羅蜜多心。名普遍智藏。

善男子。菩薩は般若波羅蜜多心に有り。普遍智藏と名づ  
ける。

汝今諦聽善思念之。吾當爲汝分別解說。

汝は今、諦聽して、善く之の念を思う。吾は當に汝の爲に分別し解説する。

作是語已。慧命舍利弗白觀自在菩薩摩訶薩言。

是の語り作り已み、慧命な舍利弗、觀自在菩薩摩訶薩に白して言う。

唯大淨者。願爲說之。

唯、大淨。之を説く爲に願う。

今正是時。於斯告舍利弗。

今は正に是れの時。斯に於いて舍利弗に告げる。

諸菩薩摩訶薩應如是學。

諸の菩薩摩訶薩、應に是れの如く學ぶ。

色性は空空性は色。

色の性は是れ空、空の性は是れ色。

色不異空空不異色。

色は空に異ならず、空は色に異ならず。

色即是空空即是色。

色しきは即すなわち是これ空くう、空くうは即すなわち是これ色しき。

受想行識亦復如是。

受じゆ、想そう、行ぎやう、識しきも亦また、是これの如ごとく復ふくす。

識性是空空性是識。

識しきの性さがは是これ空くう、空くうの性さがは是これ識しき。

識不異空空不異識。

識しきは空くうに異ことならず、空くうは識しきに異ことならず。

識即是空空即是識。

識しきは即すなわち是これ空くう、空くうは即すなわち是これ識しき。

舍利子。是諸法空相。

舍しやり利し子こ。是しよほうの諸くう法そうは空この相そう。

不生不滅不垢不淨不增不減。

生しやうじず滅めつせず、垢けがれず淨きよめず、増ふえず減へらず。

是故空中無色。無受想行識。

是これ故ゆえに空くうの中なかに色しきは無なし。受じゆ、想そう、行ぎやう、識しきは無なし。

無眼耳鼻舌身意。

眼、耳、鼻、舌、身、意は無し。

無色聲香味觸法。

色、聲、香、味、觸、法は無し。

無眼界乃至無意識界。

眼界は無し、乃ち意識界に至り無し。

無無明亦無無明盡。

無明は無く、亦、無明が盡きるは無し。

乃至無老死亦無老死盡。

乃ち老死に至り無く、亦、老死が盡きるも無し。

無苦集滅道。

苦、集、滅、道は無し。

無智亦無得。以無所得故。

智は無く、亦、得るも無し。得る無し以て故に。

菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無罣礙。

菩提薩埵は、般若波羅蜜多に依るが故に、心に罣礙無し。

無罣礙故無有恐怖。

罣礙けいげな無ゆえし故きようふに、恐怖あの有なる無なし。

遠離顛倒夢想。究竟涅槃。

顛倒てんどうむそう夢想とおを遠はなく離なす。涅槃ねはんを究竟くきようする。

三世諸佛依般若波羅蜜多故。

三世さんぜしやうぶつ諸佛ほんにやはらみつたは、般若波羅蜜多よに依ゆえるが故ゆえに。

得阿耨多羅三藐三菩提。

阿耨多羅三藐三菩提あのくたらさんみやくさんぼうだいを得える。

故知般若波羅蜜多是大神呪。

故ゆえに知しる般若波羅蜜多ほんにやはらみつたは、是これ大神だいじんの呪しゆ。

是大明呪。是無上呪。是無等等呪。

是これ大明だいまようの呪しゆ。是これ無上むじようの呪しゆ。是これ無等むとうどう等の呪しゆ。

能除一切苦眞實不虛。

一切いっさいの苦くを能よく除のぞく。眞まことの實じつにして虚きよならず。

故説般若波羅蜜多呪。

故ゆえに般若波羅蜜多ほんにやはらみつたの呪しゆを説とく。

即説呪曰

すなわ しゆ と いわ  
即ち呪に説いて曰く

揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提莎婆訶

ギヤテイギヤテイ ハラギヤテイ ハラソウギヤテイ ボジソワカ

揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提莎婆訶

佛説是已。

ほとけ こ けい と お  
佛、是の經を説き已わる。

諸比丘及菩薩衆。一切世間天人阿脩羅乾闥婆等。

もろもろ

びく およ ぼさつ しゆう いつさい せけん てん じん あしゆうら

げんだつば  
、  
乾闥婆など。

聞佛所説皆大歡喜。信受奉行

ほとけ

と き みなおお かんき しんじゆ ぶぎよう  
佛の説くを聞き、皆大いに歡喜する。信受、奉行

普遍智藏般若波羅蜜多心經

ふへんちぞうほんにやはらみつたしんぎよう

普遍智藏般若波羅蜜多心經。

SAT253::般若さま利言さま::般若波羅蜜多心經

漢文

般若波羅蜜多心經

罽賓國三藏般若共利言等譯

如是我聞。一時佛在王舍城耆闍崛山中。與大比丘衆及菩薩衆俱。時佛世尊即入三昧。名廣大甚深。爾時衆中有菩薩摩訶薩。名觀自在。行深般若波羅蜜多時。照見五蘊皆空。離諸苦厄。即時舍利弗承佛威力。合掌恭敬白觀自在菩薩摩訶薩言。善男子。若有欲學甚深般若波羅蜜多行者。云何修行。如是問已。爾時觀自在菩薩摩訶薩告具壽舍利弗言。

舍利子。若善男子善女人行甚深般若波羅蜜多行時。應觀五蘊性空。舍利子。色不異空空不異色。色即是空空即是色。受想行識亦復如是。舍利子。是諸法空相。不生不滅不垢不淨不增不減。是故空中無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色聲香味觸法。無眼界乃至無意識界。無無明亦無無明盡。乃至無老死亦無老死盡。

無苦集滅道。無智亦無得。以無所得故。菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無罣礙。無罣礙故無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟涅槃。三世諸佛依般若波羅蜜多故。

得阿耨多羅三藐三菩提。故知般若波羅蜜多是大神呪。是大明呪。是無上呪。是無等等呪。能除一切苦。真實不虛。

故說般若波羅蜜多呪。即說呪曰

蘊諦 蘊諦 波羅蘊諦 波羅僧蘊諦 菩提娑蘇絃反婆訶

如是舍利弗。諸菩薩摩訶薩於甚深般若波羅蜜多行。應如是行。如是說已。即時世尊從廣大甚深三摩地起。讚觀自在菩薩摩訶薩言。善哉善哉。善男子。如是如是。如汝所說。甚深般若波羅蜜多行。應如是行。如是行時一切如來皆悉隨喜。爾時世尊說是語已。具壽舍利弗大喜充遍。觀自在菩薩摩訶薩亦大歡喜。時彼衆會天人阿修羅乾闥婆等。

聞佛所說皆大歡喜。信受奉行

般若波羅蜜多心經

漢文と書き下し文

般若波羅蜜多心經

はんにやはらみつたしんぎよう  
般若波羅蜜多心經。

罽賓國三藏般若共利言等譯

けいひんこくさんぞうほんにやともりごん  
罽賓國の三藏、般若と共に利言などが譯。

如是我聞。

こごとわれき  
是れの如く我は聞く。

一時佛在王舍城耆闍崛山中。

いつときほとけおうしやじょうぎじやくつせんちゆうあ  
一時に佛は王舍城の耆闍崛山中に在り。

與大比丘衆及菩薩衆俱。

大比丘の衆、及び菩薩の衆と俱し與する。

時佛世尊即入三昧。名廣大甚深。

時に佛の世尊は即ち三昧に入る。廣大で甚深と名づける。

爾時衆中有菩薩摩訶薩。名觀自在。

爾の時、衆の中に菩薩摩訶薩は有り。觀自在と名づける。

行深般若波羅蜜多時。

深く行じて般若波羅蜜多の時。

照見五蘊皆空。離諸苦厄。

五蘊は皆空と照らし見る。諸の苦厄を離れる。

即時舍利弗承佛威力。

即ち時に舍利弗、佛の威力を承る。

合掌恭敬白觀自在菩薩摩訶薩言。

合掌して恭敬し、觀自在菩薩摩訶薩に白して言う。

善男子。若有欲學甚深般若波羅蜜多行者。

善男子。若し甚深な般若波羅蜜多の行を學ぶを欲する

有るなら。

云何修行。

何が行を修めると云う。

如是問已」

是れの如く問い已わる。

爾時觀自在菩薩摩訶薩告具壽舍利弗言。

爾の時、觀自在菩薩摩訶薩、具壽な舍利弗に告げて言う。

舍利子。若善男子善女人行甚深般若波羅蜜多行時。

舍利子。若しくは善男子、善女人、甚深な般若波羅蜜多を行ずる時。

應觀五蘊性空。

應に五蘊の性は空と觀る。

舍利子。色不異空空不異色。

舍利子。色は空に異ならず、空は色に異ならず。

色即是空空即是色。

色は即ち是れ空、空は即ち是れ色。

受想行識亦復如是。

受、想、行、識も亦、是れの如く復す。

舍利子。是諸法空相。

舍利子。是の諸法は空の相。

不生不滅不垢不淨不增不減。

生じず滅せず、垢れず淨めず、増えず減らず。

是故空中無色。無受想行識。

是れ故に、空の中に色は無し。受、想、行、識も無し。

無眼耳鼻舌身意。

眼、耳、鼻、舌、身、意は無し。

無色聲香味觸法。

色、聲、香、味、觸、法は無し。

無眼界乃至無意識界。

眼界は無し、乃ち意識界に至り無し。

無無明亦無無明盡。

無明は無く、亦、無明が盡きるは無し。

乃至無老死亦無老死盡。

乃ち老死に至り無く、亦、老死が盡きるも無し。

無苦集滅道。

苦、集、滅、道は無し。

無智亦無得。以無所得故。

智は無く、亦、得るも無し。得る無し以て故に。

菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無罣礙。

菩提薩埵は、般若波羅蜜多に依るが故に、心に罣礙無し。

無罣礙故無有恐怖。

罣礙無し故に、恐怖の有る無し。

遠離顛倒夢想。究竟涅槃。

顛倒夢想を遠く離す。涅槃を究竟する。

三世諸佛依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。

三世諸佛は、般若波羅蜜多に依るが故に。

阿耨多羅三藐三菩提を得る。

故知般若波羅蜜多是大神呪。

故に知る般若波羅蜜多は、是れ大神の呪。

是大明呪。は無上呪。是无等等呪。

是れ大明の呪。是れ無上の呪。是れ無等々の呪。

能除一切苦。眞實不虛。

一切の苦を能く除く。眞の實にして虚ならず。

故説般若波羅蜜多呪。

故に般若波羅蜜多の呪を説く。

即説呪曰

即ち呪に説いて曰く

藥諦 藥諦 波羅藥諦 波羅僧藥諦菩提娑蘇紇反婆訶

ギヤテイ ギヤテイ ハラ ギヤテイ ハラソウギヤテイボジソワカ  
藥諦 藥諦 波羅藥諦 波羅僧藥諦菩提娑蘇紇反婆訶

如是舍利弗。

是れの如く舍利弗。

諸菩薩摩訶薩於甚深般若波羅蜜多行。應如是行。

諸の菩薩摩訶薩は甚深な般若波羅蜜多の行に於く。應

に是れの如く行う。

如是説已。即時世尊從廣大甚深三摩地起。

是れの如く説き已む。即ち時に世尊は廣大で甚深な三摩地に從い起つ。

讚觀自在菩薩摩訶薩言。

觀自在菩薩摩訶薩を讚けて言う。

善哉善哉。善男子。如是如是。

善哉、善哉。善男子。是れの如し、是れの如し。

如汝所説。甚深般若波羅蜜多行。應如是行。

汝の説く如し。甚深な般若波羅蜜多の行を、應に是れの如く行う。

如是行時一切如來皆悉隨喜。

是れの如く行じるとき、一切の如來は皆悉く隨喜する。

爾時世尊説是語已。

爾の時に世尊は是の語りを説き已わる。

具壽舍利弗大喜充遍。

具壽な舍利弗は大いに喜び充ち遍く。

觀自在菩薩摩訶薩亦大歡喜。

かんじざいぼさつまかさつ  
また  
もお  
かんき  
観自在菩薩摩訶薩も亦、大いに歡喜する。

時彼衆會天人阿修羅乾闥婆等。

とき かれ しゅうかい てん じん あしゆら げんだつば  
時に彼の衆會の天、人、阿修羅、乾闥婆など。

聞佛所説皆大歡喜。信受奉行

ほとけ と き みなおお  
かんき  
しんじゆ  
ぶぎよう  
佛の説くを聞き、皆大いに歡喜する。信受、奉行

般若波羅蜜多心經

はんによはらみつたしんぎよう  
般若波羅蜜多心經。

SAT254…智慧輪さま…般若波羅蜜多心經

咒文は音写表記です。音写表記について、ご興味があるようでしたら各位で調べてください。

オンー

唵引

ギヤテイ

ギヤテイ

誡帝

誡帝

ハーラ

ギヤテイ

ハーラ

サンギヤテイ

播引囉誡帝

播引囉散誡帝

ボージ

ソバク+カー

冒引地娑縛

合引賀引

漢文

般若波羅蜜多心經

唐上都大興善寺三藏沙門

智慧輪奉

詔譯

如是我聞。一時薄誡梵。住王舍城鷲峯山中。與大苾芻衆。及大菩

薩衆俱。爾時世尊。入三摩地。名廣大甚深照見。時衆中有一菩薩摩訶薩。名觀世音自在。行甚深般若波羅蜜多行時。照見五蘊自性皆空。即時具壽舍利子。承佛威神。合掌恭敬。白觀世音自在菩薩摩訶薩言。聖者。若有欲學甚深般若波羅蜜多行。云何修行。如是問已。爾時觀世音自在菩薩摩訶薩。告具壽舍利子言。舍利子。若有善男子。善女人。

行甚深般若波羅蜜多行時。應照見五蘊自性皆空。離諸苦厄。舍利子。色空。空性見色。色不異空。空不異色。是色即空。是空即色。受想行識。亦復如是。舍利子。

是諸法性相空。不生不滅。不垢不淨。不減不增。是故空中。無色。無受想行識。無眼耳鼻舌身意。無色聲香味觸法。無眼界。乃至無意識界。無無明。亦無無明盡。乃至無老死盡。無苦集滅道。無智證無得。以無所得故。菩提薩埵。依般若波羅蜜多住。心無障礙。心無障礙故。無有恐怖。遠離顛倒夢想。究竟寂然。三世諸佛。依般若波羅蜜多故。得阿耨多羅。三藐三菩提。現成正覺。故知般若波羅蜜多。是大真言。是大明真言。是無上真言。是無等等真言。能除一切苦。真實不虛。故說般若波羅蜜多真言。

#### 即說真言

唵引識帝識帝。播引囉識帝。播引囉散識帝。冒引地娑縛二合賀引如是舍利子。諸菩薩摩訶薩。於甚深般若波羅蜜多行。應如是學。爾時世尊。從三摩地安祥而起。讚觀世音自在菩薩摩訶薩言。善哉善哉。善男子。如是如是。

如汝所說。甚深般若波羅蜜多行。應如是行。如是行時。一切如來。悉皆隨喜。爾時世尊如是說已。具壽舍利子。觀世音自在菩薩及彼衆會一切世間天人阿蘇囉嚩駄等。

聞佛所説。皆大歡喜。信受奉行  
般若波羅蜜多心經

## 漢文と書き下し文

般若波羅蜜多心經

はんにやほらみつたしんぎよう

般若波羅蜜多心經。

唐上都大興善寺三藏沙門 智慧輪奉 詔譯

さんぞう

しやもん

ちえりん

たてまつ

みことのり

唐上都大興善寺の三藏、沙門の智慧輪が奉る、詔により

り譯す。

如是我聞。

是れの如く我は聞く。

一時薄伽梵。住王舍城鷲峯山中。

いつとき

ぼかほん

おうしやじよう

じゆうぼうせんちゆう

とど

一時に薄伽梵は王舍城の鷲峯山中に住まる。

與大苾芻衆。及大菩薩衆俱。

だいびつしゆ

しゆう

くみ

およ

だいぼさつ

しゆう

とも

大苾芻の衆に與する。及び大菩薩の衆と俱する。

爾時世尊。入三摩地。名廣大甚深照見。

そ

とき

せそん

さんまじ

はい

こうだい

じんしん

しやうけん

爾の時に世尊は三摩地に入る。廣大で甚深な照見と

名なづける。

時衆中有一菩薩摩訶薩。名觀世音自在。  
時ときに、衆しゅうの中なかに一ひとり菩薩摩訶薩ぼさつまかさつが有あり。觀世音自在かんぜおんじさいと名なづける。

行甚深般若波羅蜜多行時。

甚深じんしんな般若波羅蜜多ほんにやはらみつたの行ぎょうを行おこなう時とき。

照見五蘊自性皆空。

五蘊ごうんは自みずからの性さがは皆みなくう空てと照みらし見みる。

即時具壽舍利子。承佛威神。

すなわ 時ときに具壽ぐじゆな舍利子しやりし。佛ほとけの威神いじんを承うけたまわる。

合掌恭敬。白觀世音自在菩薩摩訶薩言。

合掌がっしょうし恭敬きやうけいする。觀世音自在菩薩摩訶薩かんぜおんじさいぼさつまかさつに白もうして言いう。

聖者。若有欲學甚深般若波羅蜜多行。

聖者しょうじや。若もし甚深じんしんな般若波羅蜜多ほんにやはらみつたの行ぎょうを學まなぶを欲ほつする有あるなら。

云何修行。

何なにが行ぎょうを修おさめると云いう。

如是問已。

是れの如く問い已わる。

爾時觀世音自在菩薩摩訶薩。告具壽舍利子言。

爾の時、觀世音自在菩薩摩訶薩。具壽な舍利子に告げて  
言う。

舍利子。若有善男子。善女人。

舍利子。若し善男子が有り。善女人。

行甚深般若波羅蜜多行時。

甚深な般若波羅蜜多を行じる時。

應照見五蘊自性皆空。離諸苦厄。

應に五蘊は自らの性は皆空と照らし見て、諸の苦厄  
を離れる。

舍利子。色空。空性見色。

舍利子。色は空。空の性は色に見る。

色不異空。空不異色。

色は空に異ならず。空は色に異ならず。

是色即空。是空即色。

色は即ち是れ空、空は即ち是れ色。

受想行識。亦復如是。

受、想、行、識。亦、是れの如く復す。

舍利子。是諸法性相空。

舍利子。是の諸法は空の相。

不生不滅。不垢不淨。不減不增。

生じず滅せず、垢れず淨めず、増えず減らず。

是故空中。無色。無受想行識。

是れ故に、空の中。色は無し。受、想、行、識も無し。

無眼耳鼻舌身意。

眼、耳、鼻、舌、身、意は無し。

無色聲香味觸法。

色、聲、香、味、觸、法は無し。

無眼界。乃至無意識界。

眼界は無し、乃ち意識界に至り無し。

無無明。亦無無明盡。

無明は無く、亦、無明が盡きるは無し。

乃至無老死盡。

乃ち老死に至り無く、亦、老死が盡きるも無し。

無苦集滅道。

苦、集、滅、道は無し。

無智證無得。以無所得故。菩提薩埵。

智の證は無く、得るは無し。得る無し以て故に。菩提薩埵垂

依般若波羅蜜多住。心無障礙。

般若波羅蜜多に住まるに依りて。心に障てる凝り無し。

心無障礙故。無有恐怖。

心に障てる凝り無しが故に。恐怖の有る無し。

遠離顛倒夢想。究竟寂然。

顛倒夢想を遠く離す。寂然を究竟する。

三世諸佛。依般若波羅蜜多故。

三世諸佛。般若波羅蜜多に依るが故に。

得阿耨多羅。三藐三菩提。現成正覺。

阿耨多羅を得る。三藐三菩提。正しい覺りを成し現す。

故知般若波羅蜜多。

故に知る般若波羅蜜多。

是大眞言。是大明眞言。は無上眞言。は無等等眞言。

是れ大の眞言。是れ大明の眞言。是れ無上の眞言。

是れ無等々の眞言。

能除一切苦。眞實不虛。

一切の苦を能く除く。眞の實にして虚ならず。

故説般若波羅蜜多眞言。

故に般若波羅蜜多の眞言を説く。

即説眞言

即ち眞言を説いて

唵識帝識帝。播囉識帝。播囉散識帝。冒地娑縛賀

唵、識帝、識帝。播囉識帝。播囉散識帝。冒地娑縛賀

如是舍利子。諸菩薩摩訶薩。

是れの如く舍利子。諸の菩薩摩訶薩。

於甚深般若波羅蜜多行。應如是學。  
甚深な般若波羅蜜多の行に於いて。應に是れの如く学ぶ。

爾時世尊。從三摩地安祥而起。讚觀世音自在菩薩摩訶薩言。  
爾の時に世尊。三摩地の安祥に従い起つ。觀世音自在菩薩摩訶薩を讚けて言う。

善哉善哉。善男子。如是如是。  
善哉、善哉。善男子。是れの如し、是れの如し。

如汝所說。甚深般若波羅蜜多行。應如是行。  
汝の説く如く。甚深な般若波羅蜜多の行。應に是れの如く行う。

如是行時。一切如來。悉皆隨喜。  
是れの如く行う時。一切の如來、悉く皆で隨喜する。

爾時世尊如是說已。  
爾の時に世尊は是れの如く説き已わる。

具壽舍利子。

具壽ぐじゆな舍利子しやりし。

觀世音自在菩薩及彼衆會一切世間天人阿蘇囉嚩駄等。

觀世音自在菩薩、及び彼の衆會の一切の世間、天、人、

阿蘇囉あしゆら、嚩駄けんたなど。

聞佛所說。皆大歡喜。信受奉行

佛ほとけの説とくを聞きき、皆大みなおおいに歡喜かんきする。信受しんじゆ、奉行ぶぎよう

般若波羅蜜多心經

般若波羅蜜多心經。  
はんにやほらみつたしんぎよう

SAT255::法成さま::般若波羅蜜多心經燉煌石室  
本

漢文

般若波羅蜜多心經燉煌石室本

國大德三藏法師沙門法成譯

如是我聞。一時薄伽梵住王舍城鷲峯山中。與大苾芻衆。及諸菩薩摩訶薩俱。

爾時世尊等入甚深明了三摩地法之異門。復於爾時。觀自在菩薩摩訶薩。行深般若波羅蜜多時。觀察照見五蘊體性。悉皆是空。時具壽舍利子。承佛威力。

白聖者觀自在菩薩摩訶薩曰。若善男子。欲修行甚深般若波羅蜜多者。復當云何修學。作是語已。觀自在菩薩摩訶薩答具壽舍利子言。若善男子及善女人。

欲修行甚深般若波羅蜜多者。彼應如是觀察。五蘊體性皆空。色即是空。空即是色。色不異空。空不異色。如是受想行識。亦復皆空。是故舍利子。一切法空性。

無相無生無滅。無垢離垢。無減無增。舍利子。是故爾時空性之中。無色。

無受。無想。無行。亦無有識。無眼。無耳。無鼻。無舌。無身。無意。無色。無聲。無香。無味。無觸。無法。無眼界。乃至無意識界。無無明。亦無無明盡。

乃至無老死。亦無老死盡。無苦集滅道。無智無得。亦無不得。是

故舍利子。以無所得故。諸菩薩衆。依止般若波羅蜜多。心無障礙。無有恐怖。超過顛倒。

究竟涅槃。三世一切諸佛。亦皆依般若波羅蜜多故。證得無上正等菩提。

舍利子。是故當知般若波羅蜜多大蜜咒者。是大明咒。是無上咒。是無等等咒。能除一切諸苦之咒。眞實無倒。故知般若波羅蜜多。

是祕密咒。即說般若波羅蜜多咒曰

峩帝峩帝。波囉峩帝。波囉僧峩帝。菩提莎訶」

舍利子。菩薩摩訶薩。應如是修學甚深般若波羅蜜多。爾時世尊從彼定起。告聖者觀自在菩薩摩訶薩曰。善哉善哉。善男子。如是如是。

如汝所說。彼當如是修學般若波羅蜜多。一切如來。亦當隨喜。時薄伽梵說是語已。具壽舍利子。聖者觀自在菩薩摩訶薩。一切世間天人阿蘇羅乾闥婆等。聞佛所說。皆大歡喜。信受奉行

般若波羅蜜多心經

漢文と書き下し文

般若波羅蜜多心經燉煌石室本

はんにはやはらみつたしんぎよう どんこう せきしつほん  
般若波羅蜜多心經。燉煌の石室本。

國大徳三藏法師沙門法成譯

くに だいとく さんぞうほうし しゃもん ほうじょう やく  
國の大徳、三藏法師、沙門の法成が譯。

如是我聞。

是れの如く我は聞く。

一時薄伽梵住王舍城鷲峯山中。

一時に薄伽梵は王舍城の鷲峯山中に住まる。

與大苾芻衆。及諸菩薩摩訶薩俱。

大苾芻の衆と與する。及び諸の菩薩摩訶薩と俱する。

爾時世尊等入甚深明了三摩地法之異門。復於爾時。

爾の時に世尊など甚深で明了な三摩地法の異門に入る。爾の時に復す。

觀自在菩薩摩訶薩。行深般若波羅蜜多時。

觀自在菩薩摩訶薩。深く般若波羅蜜多を行じる時。

觀察照見五蘊體性。悉皆是空。

五蘊の體の性を觀察し照らし觀る。悉く皆是れ空。

時具壽舍利子。承佛威力。

時に具壽な舍利子。佛の威力を承る。

白聖者觀自在菩薩摩訶薩曰。

聖者の觀自在菩薩摩訶薩に白して曰く。

若善男子。欲修行甚深般若波羅蜜多者。

若し善男子。甚深な般若波羅蜜多の行を修めるを欲する  
なら。

復當云何修學。

當に何を云い學びを修めるを復す。

作是語已。觀自在菩薩摩訶薩答具壽舍利子言。

是の作りを語り已わる。觀自在菩薩摩訶薩、具壽な舍利子  
に答えて言う。

若善男子及善女人。

若し善男子及び善女人。

欲修行甚深般若波羅蜜多者。

甚深な般若波羅蜜多の行を修めるを欲するなら。

彼應如是觀察。

彼は應に是れの如く觀察する。

五蘊體性皆空。

五蘊の體の性は皆空。

色即是空。空即是色。

色しきは即すなわち是これ空くう。空くうは即すなわち是これ色しき。

色不異空。空不異色。

色しきは空くうに異ことならず。空くうは色しきに異ことならず。

如是想行識。亦復皆空。

是これの如ごとく、受じゆ、想そう、行ぎよう、識しき。亦また、皆空みなくうを復ふくす。

是故舍利子。一切法空性。

是これ故ゆえに舍利子しやりし。一切いつさいの法ぼうは空くうの性さが。

無相無生無滅。

相そうは無なく、生うまれるは無なく、滅ほろぶは無なし。

無垢離垢。

垢けがれは無なく、垢けがれは離はなれる。

無減無増。

減へるは無なく、増ふえるは無なし。

舍利子。是故爾時空性之中。

舍利子しやりし。是この故ゆえに、爾その時ときは空くうの性さが、之これの中なか。

無色。無受。無想。無行。亦無有識。

色は無し。受は無し。想は無し。行は無し。亦、識の有るは無し。

無眼。無耳。無鼻。無舌。無身。無意。

眼は無し。耳は無し。鼻は無し。舌は無し。身は無し。

意は無し。

無色。無聲。無香。無味。無觸。無法。

色は無し。聲は無し。香は無し。味もは無し。觸は無し。法は無し。

無眼界。乃至無意識界。

眼界は無し。乃ち意識界に至り無し。

無無明。亦無無明盡。

無明は無し。亦、無明が盡きるは無し。

乃至無老死。亦無老死盡。

乃ち老死に至り無し。亦、老死が盡きるも無し。

無苦集滅道。

苦、集、滅、道は無し。

無智無得。亦無不得。

智は無く、得る無し。亦、得ずも無し。

是故舍利子。以無所得故。諸菩薩衆。

是れの故に舍利子。得る無し以て故に。諸の菩薩の

衆。

依止般若波羅蜜多。心無障礙。無有恐怖。

般若波羅蜜多に依り止める。心に障てる凝り無し。恐怖

の有る無し。

超過顛倒。究竟涅槃。

顛倒を過ぎて超える。涅槃を究竟する。

三世一切諸佛。亦皆依般若波羅蜜多故。證得無上正等菩提。

三世の一切の諸の佛も亦、皆は般若波羅蜜多に依るが

故に、無上正等菩提の證を得る。

舍利子。是故當知般若波羅蜜多大蜜咒者。

舍利子。是れ故に當に知る般若波羅蜜多は大蜜咒。

是大明咒。は無上咒。は無等等咒。

是れ大明咒。是れ無上咒。是れ無等等咒。

能除一切諸苦之咒。眞實無倒。

能く一切の諸の苦を除く、之の咒。眞實にして無倒。

故知般若波羅蜜多。是祕密咒。

故に般若波羅蜜多を知る。是れ祕密咒。

即説般若波羅蜜多咒曰

即ち般若波羅蜜多咒を説いて曰く

鞞帝鞞帝。波囉鞞帝。波囉僧鞞帝。菩提莎訶

鞞帝鞞帝。波囉鞞帝。波囉僧鞞帝。菩提莎訶。

舍利子。菩薩摩訶薩。

舍利子。菩薩摩訶薩。

應如是修學甚深般若波羅蜜多。

應に是れの如く、甚深な般若波羅蜜多の學びを修める。

爾時世尊從彼定起。

爾の時に世尊は彼の定に従い起つ。

告聖者觀自在菩薩摩訶薩曰。

聖者の觀自在菩薩摩訶薩に告げて曰く。

善哉善哉。善男子。如是如是。

善哉、善哉。善男子。是れの如し、是れの如し。

如汝所説。彼當如是修學般若波羅蜜多。

汝の説く如し。彼は當に是れの如く、般若波羅蜜多の  
學びを修める。

一切如來。亦當隨喜。

一切の如來。亦、當に隨喜する。

時薄伽梵説是語已。

薄伽梵は是の語りを説き已わる時。

具壽舍利子。聖者觀自在菩薩摩訶薩。

具壽な舍利子。聖者の觀自在菩薩摩訶薩。

一切世間天人阿蘇羅乾闥婆等。

一切の世間、天、人、阿蘇羅、乾闥婆など。

聞佛所説。皆大歡喜。信受奉行

佛の説くを聞く。皆大いに歡喜する。信受、奉行

般若波羅蜜多心經

はんにはんやほらみつたしんぎよう

般若波羅蜜多心經。

SAT257：施護さま：佛説聖佛母般若波羅蜜多經

咒文の冒頭二文字目で、「侄」は「寧十也」の代りに記してあります。義浄さまは仏説療痔経呪ぼしせつりゆうじきんじゆじゆにおいてTadyathāを「怛侄他」タデイヤターと漢訳されています。この表記を借りています。「即ち」の意味です。咒文に含まれています。音写表記について、ご興味があるようでしたら各位で調べてください。

タデイヤター

オンー

怛切寧身他引一

唵引

ギヤテイー ギヤテイー

譏引帝引 譏引帝二

ハーラ ギヤテイー ハーラ ソウギヤテイー

播引囉引譏引帝三 播引囉引僧引譏引帝四

ボジソワーカー

冒引提引莎引賀五

## 漢文

佛說聖佛母般若波羅蜜多經

西天譯經三藏朝奉大夫試光祿卿

傳法大師賜紫臣施護奉 詔譯

如是我聞。一時世尊。在王舍城鷲峯山中。與大苾芻衆千二百五十人俱。并諸菩薩摩訶薩衆。而共圍繞爾時世尊。即入甚深光明宣說正法三摩地。

時觀自在菩薩摩訶薩。在佛會中。而此菩薩摩訶薩。已能修行甚深般若波羅蜜多。觀見五蘊自性皆空爾時尊者舍利子。承佛威神。前白觀自在菩薩摩訶薩言。若善男子善女人。於此甚深般若波羅蜜多法門。樂欲修學者。當云何學時觀自在菩薩摩訶薩。告尊者舍利子言。汝今諦聽爲汝宣說。若善男子善女人。樂欲修學此甚深般若波羅蜜多法門者。當觀五蘊自性皆空。何名五蘊自性空耶。所謂即色是空即空是色。色無異於空。

空無異於色。受想行識亦復如是。舍利子。此一切法如是空相。無所生。無所滅。無垢染。無清淨。無增長。無損減。舍利子。是故空中無色。無受想行識。

無眼耳鼻舌身意。無色聲香味觸法。無眼界。無眼識界。乃至無意識界。無意識界。

無無明。無無明盡。乃至無老死。亦無老死盡。無苦集滅道。無智。無所得。亦無無得。舍利子。由是無得故。菩薩摩訶薩。依般若波羅蜜多相應行故。心無所著。亦無罣礙。以無著無礙故。無有恐怖。遠離一切顛倒妄想。究竟圓寂。所有三世諸佛。依此般若波羅蜜多故。

得阿耨多羅三藐三菩提。是故應知。般若波羅蜜多。是廣大明。是無上明。是無等等明。而能息除一切苦惱。是即眞實無虛妄法。諸修學者。當如是學。我今宣說般若波羅蜜多大明曰

但侄他唵誡帝誡帝播囉誡帝播囉僧誡帝冒提莎賀

舍利子。諸菩薩摩訶薩。若能誦是般若波羅蜜多明句。是即修學甚深般若波羅蜜多爾時世尊。從三摩地安詳而起。讚觀自在菩薩摩訶薩言。善哉善哉。善男子。如汝所說。如是如是。般若波羅蜜多。當如是學。是即眞實最上究竟。一切如來亦皆隨喜佛說此經已。觀自在菩薩摩訶薩。并諸苾芻。乃至世間天人阿修羅乾闥婆等。一切大衆。聞佛所說皆大歡喜。信受奉行

佛說聖佛母般若波羅蜜多經

## 漢文と書き下し文

佛說聖佛母般若波羅蜜多經

ぶつせつせいぶつぼはんにはらみつたきよう  
佛說聖佛母般若波羅蜜多經。

西天譯經三藏朝奉大夫試光祿卿 傳法大師賜紫臣施護奉 詔譯

西天譯經三藏朝奉大夫試光祿卿、傳法大師賜紫臣、

せご たてまつ みことのり やく  
施護が奉る、詔により譯す。

如是我聞。

こ ごと われ き  
是れの如く我は聞く。

一時世尊。在王舎城鷲峯山中。

いつとき せそん おうしやじょう じゅうぼうせんちゅう  
一時に世尊は王舎城の鷲峯山中に在り。

與大苾芻衆千二百五十人俱。

だいびつしゆ しゅうせんにひやくごじゅうにん とも くみ  
大苾芻の衆千二百五十人と俱に與する。

并諸菩薩摩訶薩衆。

もろもろ ぼさつま かさつ しゅう なら  
諸の菩薩摩訶薩の衆は并ぶ。

而共圍繞爾時世尊。

しか とも そ とき せそん いじょう  
而して共に爾の時に世尊を圍繞する。

即入甚深光明宣說正法三摩地。

すなわ じんしん こうみやう しようほう せんせつ さんまじ はい  
即ち甚深な光明にて正法を宣說する三摩地に入る。

時觀自在菩薩摩訶薩。在佛會中。

とき かんじさいぼさつま かさつ ほとけ かいちゅう あ  
時に觀自在菩薩摩訶薩。佛の會中に在る。

而此菩薩摩訶薩。已能修行甚深般若波羅蜜多。

しか こ ぼさつま かさつ じんしん ほんにやはらみつた ぎよう よ  
而して此の菩薩摩訶薩。甚深な般若波羅蜜多の行を能

く修め已える。

觀見五蘊自性皆空爾時尊者舍利子。

ごうん みずか さが みなくう かんけん そ とき せんじや  
五蘊は自らの性が皆空と觀見し、爾の時に尊者の

舍利子。しやりし

承佛威神。前白觀自在菩薩摩訶薩言。ほとけ いじん うけたまわ かんじざいぼさつ まかさつ まえ もう  
佛の威神を承る。觀自在菩薩摩訶薩は前へ白して言  
う。

若善男子善女人。

若も善男子、善女人。ぜんなんし ぜんによにん

於此甚深般若波羅蜜多法門。

此この甚深な般若波羅蜜多の法門に於いて。じんしん ほんにやはらみつた ほうもん お

樂欲修學者。

樂たのしんで學まなびを修おさめるを欲ほつするなら。

當云何學時觀自在菩薩摩訶薩。

當まさに觀自在菩薩摩訶薩の時に、何を學まなぶと云いう。

告尊者舍利子言。

尊者そんじやの舍利子しやりしに告つげて言いう。

汝今諦聽爲汝宣說。

汝なんじは今いまは諦聽たいちよう、汝なんじの爲ために宣說せんせつする。

若善男子善女人。

若し善男子、善女人。

樂欲修學此甚深般若波羅蜜多法門者。

樂しんで此の甚深な般若波羅蜜多の法門の學びを修める  
を欲するなら。

當觀五蘊自性皆空。

當に五蘊は自らの性を皆空と觀る。

何名五蘊自性空耶。

何ぞ五蘊は自らの性を空と名づけるや。

所謂即色是空即空是色。

所謂、即ち色は是れ空、即ち空は是れ色。

色無異於空。空無異於色。

色は空に於いて異なる無し。空は色に於いて異なる無し。

受想行識亦復如是。

受、想、行、識も亦、是れの如く復す。

舍利子。此一切法如是空相。

舍利子。此の一切の法は是れ空相の如し。

無所生。無所滅。

生じる無し。滅する無し。

無垢染。無清淨。

垢れ染る無し。清み淨める無し。

無増長。無損滅。

増え長ける無し。損なう減る無し。

舍利子。是故空中無色。

舍利子。是れ故に空の中に色は無し。

無受想行識。

受、想、行、識は無し。

無眼耳鼻舌身意。

眼、耳、鼻、舌、身、意は無し。

無色聲香味觸法。

色、聲、香、味、觸、法は無し。

無眼界。無眼識界。

眼界がんかいは無なし。眼識界がんしきかいは無なし。

乃至無眼界。無意識界。

すなわ 眼界いかいに至いたり無なし。意識界いしきかいは無なし。

無無明。無無明盡。

むみよう 無な明むみようの盡つきるは無なし。

乃至無老死。亦無老死盡。

すなわ 老死ろうしに至いたり無なし。亦また、老死ろうしが盡つきるも無なし。

無苦集滅道。

く 集しゅう、滅めつ、道どうは無なし。

無智。無所得。亦無無得。

ち 智なは無えし。得えるは無なし。亦また、得える無なしは無なし。

舍利子。由是无得故。菩薩摩訶薩。

しやりし 舍利子こ。是えれ得える無なし由よるが故よに。菩薩摩訶薩ぼさつまかさつ。

依般若波羅蜜多相應行故。

はんにやほらみつた 般若波羅蜜多そうの相まさに應おこなに行よい依ゆえるが故ゆえに。

心無所著。亦無罣礙。

心こころに著あらわす無なし。亦また、罣礙けいげは無なし。

以無著無礙故。無有恐怖。

著あらわす無なく、凝こり無なしを以もつて故ゆえに。恐きようふ怖ふの有ある無なし。

遠離一切 顛倒妄想。

一切いつさいの顛倒てんどう妄想もうそうから遠とおく離はなれる。

究竟圓寂・所有三世諸佛。

圓寂えんじやくを究竟くきようして、三世さんぜの諸もろもろの佛ほとけは有ある。

依此般若波羅蜜多故。得阿耨多羅三藐三菩提。

此この般若波羅蜜多はんによはらみつたに依よるが故ゆえに。阿耨多羅三藐三菩提あのかたらさんみやくさんぼうだいを得える。

是故應知。

是これ故ゆえに應まさに知しる。

般若波羅蜜多。是廣大明。は無上明。是无等等明。

般若波羅蜜多はんによはらみつた。是これ廣こうだい大明みよう。是これ無むじよう上みよう明こ。是これ無む等とう等とう明みよう。

而能息除一切苦惱。是即眞實無虛妄法。

而しかして能よく息いきして、一切いつさいの苦惱くのうを除のぞく。是これ即すなわち眞實しんじつ

にして虚妄きよもうの無いな法ほう。

諸修學者。當如是學。

諸もろもろの學まなびを修おさめるは。當まさに是これの如ごとく學まなぶ。

我今宣說般若波羅蜜多大明曰

われいまは今はんにやはらみつただいみようせんせつの大明いを宣說いわして曰く

怛侄他 唵 誡帝誡帝播囉誡帝 播囉僧誡帝 冒提莎賀

タテイヤター オニー ギヤテイー ギヤテイー ハーラ ギヤテイー ハーラ ソウ ギヤテイー  
怛侄他 唵 誡帝 誡帝 播囉 誡帝 播囉 僧 誡帝

冒提莎賀  
ボジンソワーカー

舍利子。諸菩薩摩訶薩。

しやりし もろもろ ぼさつまかさつ  
舍利子。諸の菩薩摩訶薩。

若能誦是般若波羅蜜多明句。

もよこはんにやはらみつた みようくを誦むなら。

是即修學甚深般若波羅蜜多爾時世尊。

こじんしんはんにやはらみつた まなおさそとき  
是れ即ち甚深なる般若波羅蜜多の學びを修める爾の時に

世尊。

從三摩地安詳而起。讚觀自在菩薩摩訶薩言。

三摩地に従い安詳に起つ。觀自在菩薩摩訶薩を讚けて  
言う。

善哉善哉。善男子。如汝所說。如是如是。

善哉、善哉。善男子。汝の説くの如し。是れの如し、是  
れの如し。

般若波羅蜜多。當如是學。是即眞實最上究竟。

般若波羅蜜多。當に是れの如く学ぶ。是れ即ち眞實で  
最上の究竟。

一切如來亦皆隨喜佛說此經已。

一切の如來も亦、皆が隨喜する。佛は此の經を説き已  
わる。

觀自在菩薩摩訶薩。并諸苾芻。

觀自在菩薩摩訶薩。并びに諸の苾芻。

乃至世間天人阿修羅乾闥婆等。

乃ち世間、天、人、阿修羅、乾闥婆などに至る。

一切大衆。聞佛所說皆大歡喜。信受奉行

一切の大衆。佛の説くを聞き、皆大いに歡喜する。信受

、  
奉行ぶぎよう

佛説聖佛母般若波羅蜜多經

ぶつせつせいぶつぼはんにはらみつたきよう

佛説聖佛母般若波羅蜜多經。

## 語彙

「薄伽梵」は、梵語バガヴァットの音写です。仏の称号です。  
「王舎大城」「王舎城」は、釈迦が説法したマガダ国の首都です。

「靈鷲山」「耆闍崛山」「鷲峯山」は、王舎城周辺にある山の名前です。

「比丘」「苾芻」は、男性の出家修行者です。女性は比丘尼です。パーリ語の音写。

「圍繞」は、取り囲むです。

「正法」は、仏の教えです。

「宣説」は、説明するです。

「上首」は、中心的な人物です。

「三昧」「三摩地」は、意識の対象を1つに集中して雑念のない状態です。

「具壽」は、仏弟子への敬称です。壽を具えるです。

「聖者」は、仏学にて煩惱を捨て理法を証得した者です。

「尊者」は、仏学の弟子への尊称です。

「善男子」は、仏法に帰依する男子です。

「善女人」は、仏法に帰依する女性です。

「廣大」は、広く大きいです。

「甚深」は、甚だ奥が深いです。

「法門」は、仏学の入口となる門です。

「異門」は、異なる宗門です。他の宗派です。

「總持」は、仏の教えを維持するです。

「解脱」は、苦悩から抜け出すです。

「摩訶薩」は、摩訶薩は菩薩の尊称です。

「世尊」は、お釈迦さまの尊称です。

「威力」「威神」は、人知では測り知れない仏の持つ力です。

威神力から。

「曲躬」は、お辞儀をする様子です。

「恭敬」は、つつしみうやまうです。

「瞻仰」は、あおぎみるです。

「法要」は、儀式です。

「梵音」は、仏の声です。

「大悲」は、仏の大きな慈悲です。

「衆生」は、生きとし生けるものすべてです。

「光明」は、仏による身体の光です。

「慧光」は、仏による智慧の光です。

「正受」は、正しく受け継ぐです。慧命正受などから。

「定」は、意識の対象を1つに集中して安定させるです。禅定

などから。

「圓寂」は、入寂にゆうじやくと同じです。

「了知」は、明確に理解するです。

「寂然」は、ひっそりとした様子です。

「安詳」は、ゆったりとした様子です。

「如來」は、お釈迦さまや仏です。梵字タターガタの漢訳。

「隨喜」は、仏の教えに喜び消えるです。

「慧命」は、比丘びくの尊称です。

「諦聽」は、丁寧に聴くです。一般用語では諦聽ていちようと読みます。

「世間」は、仏学では迷いの世界です。

「阿脩羅」「阿修羅」「阿蘇囉」「阿蘇羅」は、仏学の守護神ア

スラの音写です。

「乾闥婆」「乾闥婆」「嚙駄」「乾闥婆」は、仏学の守護神ガン

ダルヴァの音写です。

「信受」は、信じてて受け入れるです。信仰です。

「奉行」は、仏の教えを奉じて実践するです。